

# WHO news January 2024

2024年1月9日

## [Climate change and health, Report by the Director-General](#)

This report gives an overview of the health risks from climate change and the necessary response by the global health community to this threat.

### 気候変動と健康（事務局長報告書）

本報告書は、気候変動による健康リスクと、この脅威に対するグローバルヘルス・コミュニティの必要な対応について概説しています。

#### 1) 背景：気候変動による健康への脅威

- 化石燃料の燃焼を主な原因として、世界は人類史上かつてない速さで温暖化。地球温暖化はパリ協定で設定された 1.5 °C の制限をまもなく超え、現在の傾向では今世紀末までに 3 °C を超える可能性がある。
- IPCC 第 6 次 評価報告書では、気候変動は、人間の健康とウェルビーイングにすでに観測可能な悪影響を及ぼしていると結論。
- 気候変動の健康への影響は、非常に不平等です。第 6 次 評価報告書では、気候変動の影響に対して非常に脆弱な状況に暮らす人々が 36 億人に上ると推定。

#### 2) 気候危機への健康対応の目標

- 人間の健康に対するこの根本的な脅威に対しては、適応（気候変動の影響から健康を守る）と緩和（温室効果ガスやその他の気候汚染物質の大気中への排出を制限すること）の両面で行動する必要。
- 気候変動による健康リスクと影響に対処するための、各国の保健適応計画を策定する必要。

#### 3) 加盟国を支援する事務局の行動案

(執行理事会はこの報告書に注目し、以下に述べる提言に対し、具体策を提示するよう求めている)

- 事務局は、加盟国が前セクションで述べた健康への適応と緩和の目標を達成するのを支援し、グローバルヘルスへの対応を導き、この問題に関する他のグローバルヘルスアクターの活動を支えるために不可欠なリーダーシップ、エビデンス、モニタリング、技術支援の機能を提供すること。
  - WHO は、他の国際的な健康アクターと連携して、グローバルヘルス・コミュニティをリードし、気候変動という存亡の危機に対処する意欲を高めていくこと。
-

2024年1月9日

## [Through their eyes: a report of three special projects to explore the new future in the Western Pacific Region](#)

This report presents the outputs of these three projects and proposes themes and messages that may shape the future of health and wellbeing in the Region.

### **西太平洋地域の新しい未来を探る 3つの特別プロジェクト報告書**

Covid-19は2年以上にわたり、私たちの日常を根底から覆しました。

パンデミックによる健康への壊滅的な影響は、「通常通りのやりかた」はもはや選択肢ではなく、急速に変化する世界で次に起こり得ることに備えなければならないという考えを強化しました。明日の複雑な健康課題に対処するため、世界保健機関は体系的に未来を見据え、今日の行動と決定をより適切に伝えることで、西太平洋を最も健康で安全な地域にすることに取り組んでいます。このプロセスの一環として、2020年、WHO西太平洋地域事務局のデータ・戦略・イノベーション(DSI)グループは、パンデミック時の生活を体系的に評価し、COVID-19が蔓延した世界の将来がどのようになるかを予測するために、健康未来戦略対話(HFSD)アプローチを採用し、3つの特別プロジェクトを実施しました。

1. SenseMaker : 2032年の世界と健康の未来はどうなっているのか、その未来はどのように出現するのか、そして、よりポジティブな未来を創造するために何ができるのかを考える最初の特別プロジェクト。
2. Crowdsourcing for Social Health Innovations (社会的健康イノベーションのためのクラウドソーシング) : 2050年の健康の未来に影響を与える課題を特定し、より良い世界を築くための革新的な解決策をデザイン。マレーシアとフィリピンの若者のビジョンと想像力を活用。
3. WHO Futures Art Exhibition (2050年の健康の未来を思い描く) : 個人やコミュニティがビジュアルアートを通して自分たちの経験や希望、不安を表現するためのプラットフォーム。

本報告書は、特別プロジェクトの成果と結論をつなぐことで、地域の健康の将来について、総合的な視点と包括的な記述を提供することを目的としています。

---

2024年1月11日

## [Second WHO global technical consultation on public health and social measures during health emergencies, November 2023](#)

WHO held its second global technical consultation on public health and social measures (PHSM) during health emergencies from 21 to 23 November 2023 to accelerate PHSM as essential countermeasures for epidemic and pandemic preparedness and prevention..

## 保健緊急時の公衆衛生・社会的対策 (PHSM) に関する 第 2 回世界技術会議

WHO は 2023 年 11 月 21 日から 23 日にかけて、保健緊急時の公衆衛生・社会的対策 (PHSM : public health and social measures) に関する 第 2 回 世界技術会議が開催されました。

今回の協議では「COVID-19 パンデミックの渦中にある公衆衛生および社会的対策を研究、監視、比較、評価するため、2021 年 6 月に発足した PHSM の有効性と影響を測定する WHO イニシアチブ」の下で開発されたマイルストーン、ツール、リソースのレビューが行われました。

協議の中で、エピデミックやパンデミックの可能性のある感染症の発生に対して、タイムリーで公平かつ状況に応じた PHSM 対応を促進するために、意思決定者、研究者、地域社会がとるべき重要な初期行動を特定し、節足動物媒介性ウイルス、人獣共通感染症の流出、パンデミックの可能性のある新型呼吸器ウイルスに対する PHSM の重要な初期行動がまとめられました。

---

2024 年 1 月 11 日

### [Scoping the needs and gaps of endemic countries in the onchocerciasis elimination programme: findings report, June 2023](#)

Ending the neglect to attain the Sustainable Development Goals: a road map for neglected tropical diseases 2021–2030 (“the road map”) sets explicit targets for the elimination of onchocerciasis by 2030.....

## オンコセルカ症撲滅プログラムにおける流行国のニーズとギャップの調査報告書

『持続可能な開発目標を達成するための放置に終止符を打つ：顧みられない熱帯病のためのロードマップ 2021 - 2030』（以下、ロードマップ）では、2030 年までにオンコセルカ症を撲滅するための明確な目標を定めています。

この目標には、34 カ国の少なくとも 1 つの重点地域、少なくとも 16 カ国の人口の 50 % 以上、少なくとも 12 カ国の流行人口全体において、イベルメクチンの大量投与 (MDA) の必要性をなくすことが含まれるほか、2030 年までに 12 カ国でオンコセルカ感染を阻止することを目標としていて、これらの目標やマイルストーンを達成するためには、多くの重要な行動が必要です。

世界保健機関 (WHO)、加盟国、パートナーは、オンコセルカ症撲滅目標の達成に向けて加盟国を支援する「オンコセルカ症撲滅のための世界ネットワーク (GONE)」を設立し、オンコセルカ症制圧の取り組み状況、課題、ボトルネック、制圧目標達成のために必要な重要行動を明らかにするため、すべての流行国でニーズ調査を実施しました。本報告書は、スコーピング調査の結果をまとめたものであり、GONE パートナーが実施すべき優先分野と重要なアクションを決定するのに役立つものです。

---

2024年1月11日

## [Evaluation of WHO 13th General Programme of Work: report](#)

In April 2023, as WHO celebrated its 75th anniversary and embarked on the preparations for the 14th General Programme of Work (GPW14), it became imperative to engage in a thoughtful reflection on the achievements and insights gained from past endeavours. The evaluation of GPW13, the 13th General Programme of Work, plays a pivotal role in this process by serving as a vital tool for assessing effectiveness.

### WHO 第13次総合事業計画 GPW13 (2023年) の評価報告書

GPW13は、国連がその実施をどのように進めるかを概説し、保健関連の持続可能な開発目標に向けた取り組みの進捗状況を測定するための枠組みで、この評価報告書は、事務局と加盟国がGPW13の実施に関する反省から学び、GPW14の策定に重要なインプットを提供し、結果の枠組みを改善することを目的としています。

このため、4つの包括的な評価目標に取り組みました。

- トリプル10億目標と関連する組織目標の達成を促進する上で、GPW13の成果フレームワークが適切であるかを評価すること
- GPW13の目標および意図された成果の達成において、各国が良好な進捗を示した業務分野と、課題を克服した業務分野を特定すること
- 国連がGPW13の目標にどの程度焦点を当てることができたかを評価し、達成を促進または阻害した要因を分析すること
- 分析から教訓を引き出し、WHO事務局および加盟国に対し、成果を持続させるため、またGPW14の策定とその後の実施のための行動を提言すること

この提言に関連して、WHOは2023年4月に創立75周年を迎え、GPW14の計画を開始しました。

---

2024年1月15日

## [Public health round-up](#)

(Bull World Health Organ. 2024 Jan 1.)

### 公衆衛生の総まとめ (WHO Bulletin)

2023年の公衆衛生の総まとめが、WHO Bulletinの2024年1月号に掲載されました。掲載内容は以下の通りです。

- 気候変動アジェンダにおける健康
- ガザの健康緊急事態への対応

- 3) 増加するマラリア
  - 4) ザンビアにおける炭疽菌
  - 5) 急性栄養不良ガイダンスの発行
  - 6) 慢性腰痛の管理ガイドラインの発行
  - 7) 交通事故死との闘い
  - 8) アルコールと砂糖入り飲料への課税
  - 9) 産後の長期罹患率
- 

2024年1月15日

## [Leaders in the Western Pacific look to behavioural sciences to improve health outcomes](#)

Leaders at the World Health Organization (WHO) Regional Committee for the Western Pacific's seventy-fourth session (held 16 to 20 October 2023) endorsed two frameworks which embrace behavioural sciences within both communication for health and strengthening health security.

### **西太平洋地域：健康アウトカム改善のために行動科学に注目**

WHO 西太平洋地域委員会の第74回会合(2023年10月16 - 20日)において、健康のためのコミュニケーションと健康の安全保障の強化の両方に行動科学を取り入れる2つの枠組みを承認しました。

1. 健康のためのコミュニケーションに関する地域行動枠組み (WPR / RC74 / 7)
2. アジア太平洋保健安全保障行動枠組み (WPR / RC74 / 5)

効果的にコミュニケーションを行い、行動に影響を与えるためには、人々がメッセージをどのように受け止め、解釈し、反応するかを形成する要因に注意を払う必要があります。BI (Behavioural Insights: 行動洞察) は、健康に関連するコミュニケーションに情報を提供するために、これらの影響因子をよりよく理解するのに役立ちます。

C4H (Communication for Health)、WHO 西太平洋地域事務局の健康のためのコミュニケーションアプローチは、社会科学や行動科学、ストーリーテリング、エビデンスに基づく計画、モニタリング、学習など、さまざまな理論、ツール、テクニックを結集し、健康に関する行動の改善を支援するためのコミュニケーションを開発するもので、2023年5月に世界保健総会で採択された「より良い健康のための行動科学」決議(WHA76.7)に沿って、行動科学の利用を推進するためにWHO、加盟国、パートナーが行ってきた活動を基礎としています。

---

2024年1月15日

## [WHO certifies Cabo Verde as malaria-free, marking a historic milestone in the fight against malaria](#)

The World Health Organization (WHO) has certified Cabo Verde as a malaria-free country, marking a significant achievement in global health.

### **WHO : カーボベルデをマラリアの無い国と認定**

世界保健機関 (WHO) は、カーボベルデ共和国をマラリアフリー国として認定しました。これにより、合計 43 の国と 1 つの地域がマラリアのない国として認定されたこととなります。WHO アフリカ地域では、1973 年に認定されたモーリシャス、2019 年に認定されたアルジェリアに続き、カーボベルデが 3 番目の認定国となります。

2024年1月18日

## [World NTD Day \(WNTDD\) 2024: Unite. Act. Eliminate.](#)

World Neglected Tropical Diseases Day (WNTDD) will be celebrated on Tuesday 30 January 2024.

### **世界顧みられない熱帯病の日 2024**

2024年1月30日は世界顧みられない熱帯病の日 (WNTDD : World Neglected Tropical Diseases Day) で、2012年にWHOの最初のロードマップと顧みられない熱帯病 (NTD) に関する「ロンドン宣言」が発表された日です。

世界顧みられない熱帯病の日の目的は、NTDによって引き起こされる苦しみについて考え、その制御、排除、根絶に向けてより多くの支援を集めることで、今年のWNTDDテーマは、「団結 Unite、行動 Act、排除 Eliminate」です。

2024年1月18日

## [WHO launches appeal for US\\$ 1.5 billion for key emergencies in 2024](#)

The World Health Organization (WHO) today launched an appeal for US\$ 1.5 billion to protect the health of the most vulnerable populations in 41 emergencies around the globe in 2024.

### **WHO : 2024年の主要緊急事態に 15 億米ドルを拠出するアピールを開始**

紛争、気候変動、経済的不安定などの危機を横断する複雑な緊急事態において、移動や飢餓、不平等を助長し続けています。

世界保健機関 (WHO) は、2024 年に世界各地で発生する 41 の緊急事態から最も脆弱な人々 8,700 万人以上の健康を守るための支援を目的として、15 億米ドルを拠出するアピールを開始しました。

この要請は、人道支援を必要とする人々の支援に資金を提供することの積極的な価値を指摘しています。WHO に 1 米ドル投資するごとに、少なくとも 35 米ドルの投資効果があり、アフリカ地域には 3 億 3,400 万ドル、東地中海地域には 7 億 500 万ドル、ヨーロッパ地域には 1 億 8,300 万ドル、西太平洋地域には 1,520 万ドル、南東アジア地域には 4,900 万ドル、南北アメリカ地域には 1 億 3,100 万ドルの資金が提供される予定です。

---

2024 年 1 月 18 日

## [Video gamers worldwide may be risking irreversible hearing loss and/or tinnitus](#)

What evidence there is suggests that the sound levels reported in studies of more than 50,000 people often near, or exceed, permissible safe limits, conclude the researchers.

### **世界中のビデオゲーマーは、不可逆的な難聴や耳鳴りの危険にさらされている可能性がある**

BMJ Public Health に掲載された入手可能な証拠のシステムティックレビューで、世界中のビデオゲーマーが不可逆的な難聴や耳鳴り（持続的な耳鳴りやブザー音）を発症している可能性があることが明らかになりました。

国際電気通信連合 (ITU) は世界保健機関 (WHO) と共同で、許容レベルと暴露時間について、exchange rate として知られる時間強度のトレードオフについて説明しています。例えば、許容騒音暴露レベル 80 dB で週 40 時間、交換率 3 dB の場合、騒音レベルが 3 dB 上昇するごとに許容暴露時間は半分になります（83 dB では 20 時間、86 dB では 10 時間、92 dB では 2.5 時間、98 dB では 38 分です）。子供の場合、許容騒音暴露レベルは週 40 時間で 75 dB と定義されています。

50,000 人以上を対象としたこのレビューで報告された騒音レベルは、しばしば許容安全限界に近いが、それを超えており、その結果として永久難聴や耳鳴りを発症する危険性のある、安全でないリスニング慣行を行っていることを示唆しているとしています。

---

2024 年 1 月 18 日

## [Tobacco use declines despite tobacco industry efforts to jeopardize progress](#)

Globally there are 1.25 billion adult tobacco users, according to the latest estimates in the

World Health Organization (WHO) [tobacco trends report](#) out today.

## たばこの使用は減少（報告書）

世界保健機関（WHO）の「たばこ動向報告書」の最新推計によると、世界の成人たばこ使用者は 12 億 5000 万人で、2022 年の傾向では、世界的にタバコの使用率は引き続き減少しています。報告書では、2000 年には世界中の成人の 3 人に 1 人がタバコを消費していましたが、現在は約 5 人に 1 人となっており、150 カ国がタバコの使用削減に成功しています。

各国の調査では、ほとんどの国で 13 ~ 15 歳の子どもたちがたばこやニコチン製品を使用していることが示されており、将来の世代を守り、たばこの使用を確実に減少させるため、WHO は今年の世界禁煙デー（のテーマ）を「たばこ産業の干渉から子どもたちを守る」とする予定です。WHO は各国に対し、引き続きたばこ規制政策を実施し、たばこ産業の干渉と闘い続けるよう求めています。

---

2024 年 1 月 25 日

## [WHO Director-General's remarks at the World Economic Forum - 17 January 2024](#)

Organizers: Regionalized Vaccine Manufacturing Collaborative at the World Economic Forum Davos, Switzerland

### 世界経済フォーラムでの WHO 事務局長発言

《発言要旨》

- COVID-19 のパンデミックは、ワクチン、検査、治療、その他の医療技術が人命を救う驚異的な力を持つことを実証したが、しかし同時に、私たちの世界の不公平さも露呈した。高所得国による偏狭なナショナリズムと買い占めによって、多くの低所得国が手にしたものはあまりにも少なく遅すぎた。従って、現地生産を拡大し、現地での規制能力を強化することは、将来のパンデミックのためだけでなく、今日の病気を治療するためにも、国家間および国家内の健康格差を是正するために不可欠なことである。
- ルワンダ政府とバイオエヌテックが共同でキガリに mRNA 製造施設を設立し、数週間前に落成
- WHO は、WHO ヘルス・テクノロジー・アクセス・プール (WHO Health Technology Access Pool) を設立し、低・中所得国におけるウイルス・タンパク質ベースのワクチンやアジュバント技術など、その他の技術の現地製造を支援。また、韓国でバイオマニュファクチャリングに関するグローバル・トレーニング・ハブを設立した。
- 最近 GAVI 理事会で承認されたアフリカ・ワクチン製造アクセラレーターやアフリカ CDC のような地域的活動は、地域の製造業者からの長期的な調達を促進する。



- WHO の世界地産地消フォーラム (World Local Production Forum) は、このような地域的、世界的な取り組みを調整し、活性化し、同期化するもので、WTO や WIPO と連携する。

---

2024 年 1 月 25 日

## [Operational framework for monitoring social determinants of health equity](#)

Social determinants of health – broadly defined as the conditions in which people are born, grow, live, work and age, and people’s access to power, money and resources – have a powerful influence on health inequities.

### **健康の公平性の社会的決定要因をモニタリングするための運用フレームワーク**

健康の社会的決定要因 (広義には、人々が生まれ、成長し、生活し、働き、年齢を重ねる条件、そして人々が権力、資金、資源を利用できる状況) は、健康の不平等に多大の影響を及ぼします。

2021 年、第 74 回 世界保健総会は、健康の社会的決定要因への取り組みに関する決議 WHA 74.16 を採択し、加盟国に対し、健康の社会的決定要因を公共政策やプログラムに統合し、多部門的アプローチを採用するよう奨励するとともに、事務局長に対し、「健康の社会的決定要因と健康の不平等の測定、評価、および分野横断的な視点からの対処のための、運用フレームワーク」を開発するよう要請しました。

健康の公平性の社会的決定要因のモニタリングのためのこの作業フレームワークは、各国に対して、健康の社会的決定要因のモニタリングとそれらに対処する行動、そして健康の公平性を改善するためのセクターを超えた政策行動のためのデータ活用に関する重要なガイダンスを提供するものです。この出版物は、各国政府とそのパートナーのための資料として作成され、専門家グループの指導の下、WHO の 3 つのレベルにわたる内部からの貢献と加盟国との正式な協議によって起草され、第 76 回 世界保健総会で承認されました。

本書は、間もなく発表される『健康の公平性の社会的決定要因に関する世界報告書』と共に、健康の公平性を促進するために、健康の社会的決定要因に取り組む新たな努力の先鞭となるものです。

---

2024 年 1 月 25 日

## [WHO releases AI ethics and governance guidance for large multi-modal models](#)

The World Health Organization (WHO) is releasing new guidance on the [ethics and governance of large multi-modal models](#) (LMMs) – a type of fast growing generative artificial intelligence (AI) technology with applications across health care.

# WHO : 大規模なマルチモーダルモデルのための AI 倫理・ガバナンスガイドンスを発表

世界保健機関 (WHO) は、ヘルスケアの分野で急速に発展している人工知能 (AI) 技術の一種である大規模多様式モデル (マルチモーダルモデル : large multi-modal models : LMMs) の倫理とガバナンスに関する新しいガイドンスを発表しました。

このガイドンスでは、人々の健康を促進・保護するために LMMs を適切に使用するために、政府、テクノロジー企業、ヘルスケアプロバイダーが考慮すべき 40 以上の推奨事項が概説されています。

---

2024 年 1 月 25 日

## [Considerations to inform country COVID-19 vaccination decision-making](#)

This slide set summarizes **WHO latest recommendations on COVID-19 vaccines and considerations for COVID-19 vaccination** after the end of the Public Health Emergency of International Concern (PHEIC).

### 国の COVID-19 ワクチン接種の意思決定に情報を提供するための考慮事項スライドセット

このスライドセットは、Covid-19 ワクチン (以下、ワクチン) に関する WHO の最新の勧告と、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC) 終了後の Covid-19 ワクチン接種に関する考慮事項をまとめたもので、目的は、保健省 (MoH) と National Immunization Advisory Committee Group (NITAG) が Covid-19 ワクチン接種の戦略的決定を行う際の方向付けに役立てることです。

#### 《記載内容》

1. ワクチン接種を増やすための情報ノート
2. PHEIC 後の WHO EUL ワクチン使用に関する規制上の留意点
3. 2024 - 2025 年の Gavi ワクチンプログラム
4. 最新の WHO SAGE ワクチン接種ロードマップ
5. ワクチン別の WHO SAGE 推奨最新版
6. ワクチン別の主なコールドチェーンおよび保管特性
7. ワクチン接種のモニタリングに関する最新情報
8. ワクチンのオミクロンに対する有効性
9. ワクチンのプログラム資源

## 10. ワクチンに関する残された科学的疑問

---

2024年1月25日

### [Executive Board, 154th session](#)

The 154th session of the Executive Board takes place on **22–27 January 2024**. Proceedings will be webcast from this page.

## 第 154 回 執行理事会

第 154 回執行理事会が 2024 年 1 月 22 日 ~ 27 日にジュネーブで開催されます。理事会の主な役割は、保健総会の決定と政策を実施し、その活動に助言、促進することで、議題には約 45 の項目とサブ項目があり、以下のように構成されています。

- 会期開会と議題の採択
- 事務局長報告
- 執行理事会への地域委員会報告
- プログラム・予算・管理委員会 (PBAC) 報告
- 健康緊急事態の予防・準備・対応に関する常設委員会の報告
- 第 1 の柱：ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの恩恵を受ける 10 億人の増加
- 第 2 の柱：10 億人以上の人々が健康緊急事態からよりよく保護されること
- 第 3 の柱：10 億人以上の人々がより良い健康とウェルビーイングを享受
- 第 4 の柱：より効果的で効率的な WHO による各国への支援強化

また、東地中海地域、南東アジア地域および西太平洋地域の新しい事務局長が任命されます。執行理事会と同時に、パンデミックの予防、準備、対応に関する WHO 条約、協定、その他の国際文書を起草し、交渉するための政府間交渉会議 (INB) および国際保健規則 (2005 年) の改正に関する作業部会 (WGIHR) に関するプロセスに関する非公式ブリーフィングも開催されます。

---

2024年1月25日

### [WHO Executive Board appoints Regional Directors for Eastern Mediterranean, South-East Asia, and Western Pacific regions](#)

Three new Regional Directors were appointed today by WHO's Executive Board to lead the Organization in the Eastern Mediterranean, South-East Asia, and Western Pacific Regions..

## WHO 執行理事会、東地中海、南東アジア、西太平洋地域の地域事務局長を任命

WHO 執行理事会により、東地中海、南東アジア、西太平洋地域の WHO を率いる 3 人の新しい地域事務局長 (RD : Regional Director) が任命されました。任期は 5 年。

- 東地中海地域 ; Dr Hanan Hassan Balkhy (サウジアラビア出身、2019 年から WHO 本部の抗菌薬耐性担当事務局長補)
- 南東アジア地域 ; Ms Saima Wazed (バングラディッシュ出身、バングラディッシュ政府の国家精神保健戦略計画の首席顧問、および自閉症および神経発達障害に関する国家諮問委員会の委員長)
- 西太平洋地域 ; Dr Saia Ma'u Piukala (トンガ出身、政治家、公衆衛生指導者、そして約 30 年の経験を持つ外科医でトンガの保健大臣。WHO 執行理事会トンガ代表)

---

2024 年 1 月 25 日

### [WHO Director-General's opening remarks at the 154th session of the Executive Board – 22 January 2024](#)

(原文省略)

## 第 154 回 執行理事会、WHO 事務局長開会の辞

《事務局長挨拶要旨》

1. 最も重要な議題の一つは、第 14 次 総合事業計画 GPW14 の草案で、包括的目標は 5 つの P
  - to promoting health
  - to provide health
  - to protecting health
  - Powering Health
  - Performance for Health
2. 2024 年はグローバルヘルスにとって、そして WHO にとって、決定的な年となり、WHO の未来を形作る 3 つの重要な機会である
  - パンデミック協定 pandemic agreement
  - 国際保健規則 IHR (2005) の改正
  - 持続可能な資金調達のための新しいアプローチ Investment Round

---

2024年1月29日

## [Joint Message by Dr Tedros Adhanom Ghebreyesus, Director-General of the World Health Organization and Mr Yohei Sasakawa, WHO Goodwill Ambassador for Leprosy Elimination](#)

Leprosy is one of the oldest and most misunderstood diseases in the world. Although it has now been curable for more than 30 years, it still has the power to stigmatize.

### **テドロス事務局長と笹川陽平 WHO ハンセン病制圧親善大使による共同メッセージ**

ハンセン病は世界で最も古く、最も誤解されている病気のひとつで、30年以上前から治療が可能になっていますが、いまだに偏見を与える力は残っています。

しかし、ハンセン病のない世界、そしてハンセン病が引き起こす問題のない世界を実現するためには、医療介入だけでは十分ではありません。

ハンセン病にまつわる偏見をなくし、ハンセン病患者・回復者の尊厳を守るために、私たちはさらに力を尽くしていかなければなりません。

WHOの世界ハンセン病戦略 2021 - 2030「ハンセン病ゼロを目指して」では、スティグマ対策と人権尊重を4つの柱の一つとして掲げています。

WHOは笹川保健財団と共同でグローバル・アピール 2024「ハンセン病の影響を受けた人に対する偏見と差別をなくすための2024年」を立ち上げました。

---

2024年1月29日

## [WHO releases a web version of the second edition of its Global Accelerated Action for the Health of Adolescents \(AA-HA!\) guidance](#)

The World Health Organization (WHO) has released the [web version](#) of the second edition of its Global Accelerated Action for the Health of Adolescents (AA-HA!) guidance..

### **WHO : 「青少年の健康のための世界的加速行動 (AA - HA!) ガイダンス 第2版」ウェブ版を公開**

WHOは、「青少年の健康のための世界的加速行動 (AA - HA! : Global Accelerated Action for the Health of Adolescents) ガイダンスの第2版」のWeb版をリリースしました。

(AA - HA!) ガイダンスの第2版は、青少年の健康とウェルビーイングの課題、機会、ニーズに政府が対応できるようにすることを目的とし、とりわけウェブAA - HA! では、以下に焦点を当てています。

1. 障害のある方や、コンピューター、スマートフォン、タブレットなど、さまざまなデバイ

スやオペレーティング・システムでの AA - HA! コンテンツのアクセシビリティの向上

2. 関連する外部コンテンツやマルチメディアへのハイパーリンクを追加
3. 青少年の死亡率と罹患率に関する WHO の最新推計値に常にアクセスできるようにし、新しい関連リソースがリアルタイムでウェブ AA - HA! 2.0 にリンク

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているものですので、詳細内容については、WHO ニュースリリース、声明及びメディア向けノートの原文をこちらからご確認下さい。

<https://www.who.int/news-room/releases>

<https://www.who.int/news-room/statements>

<https://www.who.int/news-room/notes>